

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【公表番号】特表 2019-517987 (P2019-517987A)

【公表日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【年通号数】公開・登録公報 2019-025

【出願番号】特願 2018-565799 (P2018-565799)

【国際特許分類】

C 0 3 C 10/02 (2006.01)

C 0 3 C 3/095 (2006.01)

C 0 3 C 3/19 (2006.01)

C 0 3 C 21/00 (2006.01)

【F I】

C 0 3 C 10/02

C 0 3 C 3/095

C 0 3 C 3/19

C 0 3 C 21/00 1 0 1

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 9 日 (2021.6.9)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガラスセラミックにおいて、

ケイ酸塩ガラス相と、

ナノ粒子を含む、約 0.1 モル % から約 10 モル % の結晶質 M_xWO_3 相であって、式中、M は、H、Li、Na、K、Rb、Cs、Ca、Sr、Ba、Zn、Cu、Ag、Sn、Cd、In、Tl、Pb、Bi、Th、La、Pr、Nd、Sm、Eu、Gd、Dy、Ho、Er、Tm、Yb、Lu、および U の少なくとも 1 つであり、 $0 < x < 1$ である、結晶質 M_xWO_3 相と、を含むガラスセラミック。

【請求項 2】

(i) 前記ガラスセラミックが、約 400 nm から約 700 nm の範囲の波長を有する光について、光の少なくとも 1 つの 50 nm 幅の波長域に亘り少なくとも 1 % / mm の透過率を有する、または

(ii) 前記ガラスセラミックが、約 370 nm 以下の波長を有する光について、1 % / mm 未満の透過率を有する、請求項 1 記載のガラスセラミック。

【請求項 3】

前記ガラスセラミックが、約 700 nm から約 2500 nm の範囲の波長を有する光について、光の少なくとも 1 つの 50 nm 幅の波長域に亘り 5 % / mm 未満の透過率を有する、請求項 1 記載のガラスセラミック。

【請求項 4】

前記ガラスセラミックが約 200 から約 300 の範囲の温度で加熱されたときに、約 500 nm と約 2500 nm との間の該ガラスセラミックの透過率が、10 % / mm 未

満しか変化しない、請求項 3 記載のガラスセラミック。

【請求項 5】

前記ガラスセラミックが、

(i) イオン交換可能である、または

(ii) イオン交換可能されており、該ガラスセラミックの表面から該ガラスセラミック内の少なくとも約 $10\ \mu\text{m}$ の深さまで延在する圧縮層を有し、該圧縮層が、前記表面で少なくとも約 $100\ \text{MPa}$ かつ約 $1500\ \text{MPa}$ 未満の圧縮応力を有する、

請求項 1 記載のガラスセラミック。

【請求項 6】

前記ガラスセラミックが、

(i) 熱処理によって色褪せることができる、および / または

(ii) 0 から約 300 に及ぶ温度で約 75×10^{-7} / 以下の熱膨張係数を有する、

請求項 1 記載のガラスセラミック。

【請求項 7】

前記ケイ酸塩ガラス相がホウケイ酸ガラス相である、請求項 1 記載のガラスセラミック。

【請求項 8】

(i) 前記ガラスセラミックが、約 0.1 モル% から約 5 モル% の結晶質 $M_x\text{WO}_3$ 相を含む、または

(ii) M が少なくとも 1 種類のアルカリ金属である、または

(iii) 前記ガラスセラミックが、約 56 モル% から約 78 モル% の SiO_2 ; 約 8 モル% から約 27 モル% の B_2O_3 ; 約 0.5 モル% から約 14 モル% の Al_2O_3 ; 0 モル% 超から約 10 モル% の、 Na_2O 、 K_2O 、 Cs_2O 、および Rb_2O の少なくとも 1 つ ; 約 1 モル% から約 10 モル% の WO_3 ; および 0 モル% から約 0.5 の SnO_2 を含む、

請求項 1 記載のガラスセラミック。

【請求項 9】

M が少なくとも 1 種類のアルカリ金属であり、

(i) M が Cs であり、前記ガラスセラミックが、 0 モル% 超から約 10 モル% の Cs_2O を含む、または

(ii) 0.1 モル% R_2O (モル%) - Al_2O_3 (モル%) 0.1 モル% であり、式中、 R_2O は、 Na_2O 、 K_2O 、 Cs_2O 、および Rb_2O の少なくとも 1 つである、または

(iii) $0 < \text{R}_2\text{O}$ (モル%) / WO_3 (モル%) 2.61 であり、式中、 R_2O は、 Na_2O 、 K_2O 、 Cs_2O 、および Rb_2O の少なくとも 1 つである、または

(iv) $0.66 \frac{\text{Al}_2\text{O}_3}{\text{WO}_3}$ (モル%) / WO_3 (モル%) 6 である、または

(v) $1 \frac{(\text{R}_2\text{O} + \text{Al}_2\text{O}_3)}{\text{WO}_3}$ (モル%) 6 であり、式中、 R_2O は、 Na_2O 、 K_2O 、 Cs_2O 、および Rb_2O の少なくとも 1 つである、または

(vi) 前記ガラスセラミックが、約 0.5 モル% までの MgO ; 約 2 モル% までの P_2O_5 の内の少なくとも 1 つをさらに含む、

請求項 1 記載のガラスセラミック。

【請求項 10】

前記ガラスセラミックが、約 80 モル% から約 97 モル% の SiO_2 ; 0 モル% から約 5 モル% の Al_2O_3 ; 0 モル% 超から約 2 モル% の Cs_2O ; および約 0.2 モル% から約 2 モル% の WO_3 を含む、請求項 1 記載のガラスセラミック。

【請求項 11】

前記結晶質 $M_x\text{WO}_3$ 相が、複数の小板形状 $M_x\text{WO}_3$ ナノ粒子および複数の $M_x\text{WO}_3$ ナノロッドの少なくとも一方を含み、

(i) 前記複数の小板形状 M_xWO_3 ナノ粒子が、約 10 nm から 5 μm の範囲の平均直径を有する、および / または

(i i) 前記複数の M_xWO_3 ナノロッドが、約 10 nm から約 1000 nm の範囲の平均長さ、および約 2 nm から約 75 nm の範囲に及ぶ平均幅を有する、請求項 1 または 10 記載のガラスセラミック。

【請求項 12】

前記ガラスセラミックが、熱シールド、光ファイバ、建築構成要素、自動車部品、または電子ディスプレイの筐体の少なくとも一部である、請求項 1 から 11 いずれか 1 項記載のガラスセラミック。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0100

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0100】

実施形態 17

0.66 $\frac{Al_2O_3}{(モル\%) / WO_3 (モル\%)}$ 6 である、実施形態 12 に記載のガラスセラミック。